

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

総合計画

【神林地区】

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名
政 策	1	保健・医療の充実	施 策	2		
推進手法		市民に対し健康的な生活習慣が身につくよう、ライフステージに応じた生活習慣病予防や介護予防の普及・啓発活動を効果的に展開していきます。			推進手法に「介護予防」とあるが、「予防」は不要ではないか。	神林
担当課	保健医療課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
	出前講座や健康バン菜運動、糖尿病予防教室等を開催するとともに、特定保健指導を実施し普及・啓発を進めてきた。また、平成26年度末には妊産婦から高齢期までのライフステージに応じた高血圧予防の重点活動計画を作成する。					
現状と課題	特定健診や特定保健指導の実施率は増加傾向にあるが、生活習慣病を発症する前の働き盛りの人や、胎生期からの正しい生活習慣の定着を目指した取り組みが必要である。					
推進手法		各種がん検診の受診率の向上に向け、受けやすい健診の整備を進めます。			(現状と課題) 受診率の向上も大事だが、健診の結果から、具体的に食育、生活習慣等継続して健康管理に取り組んでほしい。	神林
担当課	保健医療課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
	セット健診のほか、各種検診の同日実施、休日実施等を実施し利便性の向上を図るとともに、もれ者検診を実施し受診率の向上に努めた。また、生活実態(場所、時間、健診料等)に応じて個別と集団の選択ができる体制整備を実施した。(子宮がん、乳がん)					
現状と課題	がん検診の受診率は横ばい状況であるが、乳がん検診の受診者は増加傾向にある。今後は、新規や若年層の受診者の増加に向けて検診体制の整備を図っていく必要がある。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	保健・医療の充実	施 策	3	歯科保健の充実		
推進手法		歯の健康状態を保持・増進し、生涯を通じた歯科保健の充実を図ります。					
担当課	保健医療課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施						
	「歯科保健計画」を策定し、乳幼児及び全保育園の園児・保護者へのう蝕予防指導、歯科医師会との連携による無料歯科検診、妊婦歯科健診等を実施し、歯科保健の充実に取り組んだ。						
現状と課題	国保医療費における歯科疾患は、構成比は1位で費用額は2位と高いことから、口腔ケアに関する更なる普及啓発が必要である。						
政 策	2	地域福祉の形成	施 策	2	地域福祉基盤の充実・強化	地区	委員氏名
推進手法		地域福祉の効率的推進のため、保健・医療・福祉の連携機能を充実・強化します。また、情報の一元化を目指したネットワークの整備に努めます。				神林	
担当課	保健医療課・介護高齢課・福祉課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					神林	
	保健、福祉、介護高齢部門の3課による連携会議を定期的で開催し、情報の共有化を図った。						
現状と課題	行政内部だけでなく関係機関とのネットワークの整備を進める必要がある。						
		(現状と課題) 更なる高齢社会を迎え、2020年問題を目前に控え、地域の絆が問われている時代の中、行政主導の関係団体とのネットワークの構築が急務とされている状況において、内容に具体性が必要と考える。					
		現状と課題について、民生児童委員の活動についての記述がない。民生児童委員への活動支援が必要と考える。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名
政 策	2	地域福祉の形成	施 策	3	ボランティア育成・地域福祉活動支援の充実	
推進手法	各種研修会等の開催により、市民参加の機会提供に努めるとともに、ボランティア意識の醸成を図り、ボランティア人材の育成強化を行います。また、地域福祉を支える主体の一つであるNPO法人の育成を図ります。				（現状と課題） 登録ボランティアに対して、社協の研修会や広報活動だけでなく、福祉課、保健医療課でも各種会議、会合の際には「明日は我が身、支えられるよりも支えたい」を共有し、広報活動の取り組みの強化が必要と考える。	神林
担当課	福祉課・保健医療課・介護高齢課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 社会福祉協議会で手話及び要約筆記奉仕員の養成事業等の人材育成事業を実施したほか、研修会の開催、社協むらかみによる広報活動で、ボランティア意識の醸成を図っている。					
現状と課題	社会福祉協議会が実施している「暮らし支え合い事業」は、今後も利用希望者の増加が予想されるが、登録ボランティアが不足しており、増員に向けた支援の検討が必要である。					
政 策	3	高齢者支援の充実	施 策	1	健康寿命を延ばす保健・介護予防対策の推進	地区
推進手法	心身ともに健康で活動をし続けられる健康寿命の考え方に基づき、疾病の早期発見・治療はもとより、健康づくり・介護予防施策の推進を図ります。				推進手法、現状と課題に「介護予防」とあるが、「予防」は不要ではないか。	神林
担当課	保健医療課・介護高齢課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 地域の茶の間・老人クラブ・転倒予防教室での健康教育や、各地区で脳の健康教室等の二次・一次予防事業を実施した。また、高齢者インフルエンザ・肺炎球菌ワクチンの助成事業を開始し、高齢者の健康保持を継続的に実施する。					
現状と課題	今後もさらに健康に関する正しい知識の普及等を行い、生涯にわたって健康なからだづくりを促す取り組みを実施する。「今は健康だから」という理由で事業に参加しない人も少なくはなく、介護予防という意識を高める啓発が必要である。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名
政 策	3	高齢者支援の充実	施 策	2		
推進手法		高齢者の知識や経験を活かすため、学習活動や社会参加の機会を提供します。			内部評価、現状と課題に「介護予防」とあるが、「予防」は不要ではないか。	神林
担当課	介護高齢課・関係各課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
	介護保険適用外の高齢者に対し、生きがいづくりと閉じこもり予防、介護予防のため、生きがい活動通所サービス事業を実施し、事業に参加した対象者に市文化祭への製作品の出展などの目標を与え社会参加意欲の向上を図った。					
現状と課題	一部の地区のみで実施されている事業であり、介護予防事業(一次予防)に事業統合してゆく必要がある。					
推進手法		高齢者自身が福祉サービスの提供者となりえるよう、活動団体への支援やボランティア参加促進のための情報の提供に努めます。			各地区老人クラブへの加入が少ないことについて、年寄りの会ではなく、楽しい会ということをアピールした方がよい。	神林
担当課	介護高齢課・関係各課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
	単位老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し補助金を交付し、地域活動への支援、リーダー研修や健康づくり事業などへ支援し、地区老連や連合会で研修会等を実施している。					
現状と課題	老人クラブへの加入者が減少傾向にある。60歳代は就労している方が多く、「若手」の加入者が寡少であり、早急に加入促進策を検討する必要がある。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	5	子育て支援の充実	施 策	2	母子乳幼児の健康確保・増進		
推進手法		安心して妊娠・出産・育児ができる生活環境づくりおよび地域での子育てを支援する体制づくりを推進します。				神林	
担当課	保健医療課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	各教室への参加者が減少傾向にあるため、参加者のニーズに合わせ、内容の充実を検討していく必要がある。						
政 策	5	子育て支援の充実	施 策	4	要保護児童対策の充実	地区	委員氏名
推進手法		家庭児童相談室や村上市要保護児童対策地域協議会の機能充実を図り、児童虐待防止策や障がい児施策の推進など、要保護児童に対し適切な対応を図ります。				神林	
担当課	福祉課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	家庭相談員が抱える相談ケースの数が多く、また対応が難しいケースも増えており、予防に対する取り組みが手薄の現状にあるため、家庭相談員の勤務体制を含めた、総合的な相談体制の充実を図る必要がある。						

基本目標1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政策	5	子育て支援の充実	施策	6	乳幼児期における育成基盤の充実		
推進手法		私立幼稚園との連携を図り、必要な基盤整備の支援を行います。			保育園への未満時入園審査について、入園できる人とできない人がいて、審査のやり方がおかしいと思う。これから仕事に就きたい人より、今まで仕事をしている人が優先になっている。	神林	
担当課		福祉課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
		平成24年度に事業開始した、認定こども園である「村上こひつじ保育園」の建設に財政支援を実施し、本市の待機児童の解消に寄与している。					
現状と課題		私立保育園の今後の動向によるが、連携を深め、待機児童の解消に努めていく必要がある。					
政策	5	子育て支援の充実	施策	7	放課後児童健全育成の推進	地区	委員氏名
推進手法		子どもたちの健全育成を図るため、学童保育事業や放課後子ども教室事業を実施します。			(現状と課題) 放課後子ども教室は、一部地域(学区)で実施されているのみであるので、全市・学区に対象を拡大し、地域支援の公平性を図るべきと考える。	神林	
担当課		福祉課・生涯学習課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			子どもたちの健全育成を図る目的で、総合型クラブ(NPO法人希楽々)では「アフタースクールきらら楽校」を自力で実施している。推進手法としては、学童保育事業や放課後子ども教室事業を実施するとなっているが、私たちの事業は放課後子ども事業としては認めてもらえず、自力で前述事業を実施している。せめて、評価の部分で神林地区ではこのような取組をしていると評価していただくと期待していたが、中間総括には外郭団体の主催なので認められないと言われた。そもそも総合計画は住民目線でのまちづくりを形にしたものであり、子どもたちの健全育成という大きな目標について取り組んでいるのにこのような評価はおかしいのではないかと。	神林	
現状と課題		学童保育については、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、職員体制の整備が必要となる。また、現在、山北地区で計画されている放課後子ども教室事業については、地域ボランティアの確保や活動場所までの移動手段が課題となっている。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名
政 策	6	生活支援の充実	施 策	2		
推進手法		制度適用開始時および制度適用後の各種調査の徹底を図り、被保護者の権利保全に努めます。			生活保護は必要な制度であるが、国民年金を受給するより多く生活保護費を受給していると聞いており、申請したら簡単に受給できるような制度ではいけないと思う。	神林
担当課	福祉課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
	保護申請後、速やかに調査を実施し、法定期限内での保護決定に努めた。また、調査未了の場合でも、法第63条適用により保護決定を行うよう心がけ、早期保護決定に努めた。					
現状と課題	引き続き早期の保護決定に努めていく必要がある。					
推進手法		民生委員の協力を仰ぎ、地域で支える体制の強化に努めます。			(現状と課題) 民生委員だけでは対処できないと思う。区長を含む近所の方々や近くの親せきからも情報を提供してもらう必要があると考える。	神林
担当課	福祉課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
	民生委員と連絡を取り合い、生活の変化に目を配るとともに、地域の身近な相談役として協力を頂いていた。					
現状と課題	被保護者によっては、「民生委員の顔をしらない」、「転入者で面識がない」、「家から出ない」など民生委員や地域との関わりを好まない場合もあるが、引き続き民生委員の協力をいただき体制強化に努める必要がある。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名	
政 策	6	生活支援の充実	施 策	2	生活保護世帯の自立助長		
推進手法	訪問調査の充実を図り、世帯自立の助長に努めます。		現状と課題について、地域の民生児童委員の協力が必要と考える。			神林	
担当課	福祉課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	訪問計画の策定とケース格付けの見直しにより適正な訪問を実施した。また、必要によっては、計画外の訪問も実施した。						
現状と課題	被保護世帯の増加により一人あたりの担当ケースが増加し、計画通りに訪問が実施できなくなっている。						
政 策	7	平等社会の推進	施 策	1	人権意識の高揚	地区	委員氏名
推進手法	あらゆる場における人権侵害・差別の解消のための活動を行います。						
担当課	市民課・関係各課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	人権啓発事業を実施したほか、人権擁護委員協議会が行う人権相談、街頭啓発活動、研修会等の共催や協力を実施した。また、県同和教育研究協議会の村上市開催、部落解放研究集会等に取り組んだ。						
現状と課題	現在実施している、人権啓発活動市町村委託事業や地域人権啓発活動活性化事業を活用した人権啓発の取組等を継続するとともに、「人権教育・啓発推進計画」により、更に計画的に事業を進める必要がある。						

基本目標1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名
政 策	7	平等社会の推進	施 策	2		
推進手法		人権教育事業の一環として市民向けの人権意識講座を開催するなどして、人権尊重の正しい理解と普及に努めます。			(内部評価) 市民向けの人権啓発講演会だけでは不十分と思われる。市報掲載も含め、各種会議や集会等の最後に「その他」として、「人権啓発問題等のワンポイント情報」を提示するなど、より一層の広報活動が必要だと思う。	神林
担当課		生涯学習課・市民課・関係各課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		平成23年の市民意識調査でも、村上市における人権尊重の意識が高まっていないという結果が出ており、人権教育・啓発推進計画に基づき計画的に実施していく必要がある。				
基本目標2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり					地区	委員氏名
政 策	1	自然環境の保全	施 策	1		
推進手法		産業振興や体験交流イベントなどを通じた森林、農地から海洋に至るまでの保全、活用を行うことで、自然環境保全への相乗効果を図ります。			推進手法に、平成25年度から始まった森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付を受けた団体等との連携を加えてはどうか。	神林
担当課		農林水産課・政策推進課・商工観光課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		人・農地プランの実施により農地の保全を図ったほか、各種団体、関係機関が一体となった「さけの森林づくり活動」の推進により自然環境の保全が図られた。また、村上市観光協会と連携し瀬波温泉海岸の清掃活動を実施した。				
現状と課題		自然環境の保全へ大きな効果がみられるため、今後も持続的な取り組みが必要である。				

基本目標2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり					地区	委員氏名
政策	1	自然環境の保全	施策	3		
推進手法		各都市公園、各児童公園、中州公園等を、安全安心に利用していたできるように適切な維持管理に努めます。			神林	
担当課		環境課・福祉課・商工観光課				
内部評価及び主な実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		引き続き適正な維持管理に努めるとともに、施設の老朽化が進んでおり、効率的な管理に向けた手法の研究を進める必要がある。				
基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり					地区	委員氏名
政策	1	農業の振興	施策	3		
推進手法		農村地域住民による、固有の豊かな地域資源を活用したコミュニティビジネスなどの起業を支援し、農村地域の活性化を図ります。			神林	
担当課		農林水産課・関係各課				
内部評価及び主な実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		6次産業化に係る市独自の企業支援の制度を作ることができず、国県の制度を紹介するにとどまった。				
現状と課題		新たに6次産業化や農商工連携を加えた、産業等の活性化補助制度の見直しを進め、起業による農村地域の活性化を目指す必要がある。				

(内部評価)
維持管理が不十分と思われる。各集落の児童公園もクリーン作戦に加えてもらい、花壇や鉢植え等の整備を行い、地域から愛され憩いの場となるように、地域住民から協力を仰ぐ必要があると思う。

コミュニティビジネスなどの起業について、農商工連携にみならず、もっと広い視点で考えないと難しいのでは。思い切った発想や外部からの視点などを踏まえながら進めていった方がよいと思いますが。

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	農業の振興	施 策	4	資源循環型農業の推進		
推進手法		神林有機リサイクルセンター、朝日有機センターの利用促進などにより、適正な家畜ふん尿処理および資源循環型農業の確立をめざし、環境保全に配慮した農業の振興を図ります。			有機栽培の普及により堆肥の利用は増えているが、畜産を廃業する方が増えてきて、原料が不足してきている。その対策については、どうなるか。	神林	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	地域の畜産農家の家畜ふん尿処理の基幹施設として重要な役割を果たしており、また、生産された堆肥を農地で活用することにより、環境保全に配慮した農業の振興を図ることができた。						
現状と課題	神林・朝日の両施設以外でも堆肥の利用が進んでいるため、引き続き推進していく。						
政 策	2	林業の振興	施 策	1	総合的な林業振興の推進	地区	委員氏名
推進手法		森林組合の体質強化や労働環境の改善、林業者の定住化の促進、森づくり等への住民参加による林業担い手の育成支援と組織の強化を図ります。			民間団体がH26.10月に市内で「WOOD JOB」インターンシップモデル事業を開催した。H27年度も実施するそうなので、ぜひ連携した取り組みとしてほしい。その旨を、推進手法にも加えていただきたい。	神林	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	国の各種交付金制度を活用し、林業者の定住と林業担い手の育成、林業事業体の経営基盤強化、住民参加型の森林ボランティア活動の活性化に取り組んだ。						
現状と課題	林業者の定住化面での成果が乏しかったことから、更に強化する必要があるとともに、「森林経営計画」策定区域の地区間の偏りの解消する必要がある。また、森林ボランティア活動については、実施主体の組織化が重要である。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政策	2	林業の振興	施策	3	木材加工流通体制整備推進		
推進手法		市産材の高付加価値化を図るため、森林・林業・木材産業づくり交付金事業等により加工流通施設の整備を促進するとともに、地域産素材の安定供給体制の促進を図ります。			推進手法に、下線部を加えてはどうか。 市産材の高付加価値化を ~ するとともに、地産地消を考慮した地域産素材の安定供給体制、そしてそれに伴う木質バイオマス（チップ、おが粉、枝葉）利活用の促進を図ります。	神林	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	施設整備に対する支援により、地域産原木の大口消費先及び地域産材による製材製品の安定生産が図られた。また、「越後スギブランド材」の普及推進により高付加価値化と品質向上に取組んだ結果、取引が活発化し製品販路が拡充した。						
現状と課題	生産施設の整備は図られたが、主伐量の減少により地域産原木の安定確保が課題である。また、「越後スギブランド」の認知度は向上したが、付加価値化による高価格化や利益率向上までに至っておらず、対策が必要となる。						
政策	3	水産業の振興	施策	3	漁業経営の安定と近代化の推進	地区	委員氏名
推進手法		関係機関との連携により、少年少女水産教室等の実施による漁業担い手の育成支援や、加工業、販売業も含めた組織の強化を図ります。			推進手法中、「少年少女水産教室」について、「少年」の言葉には男女を含む意味だと思うが。	神林	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	漁業においても担い手不足があげられるが、平成25年度には研修を経て、20代の漁師が研修後、独立し操業している。今後も継続的な取り組みが必要である。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政策	3	水産業の振興	施策	4	水産物の消費と販路の拡大		
推進手法	産地直売イベントへの参加、地場有力水産物ブランド化の推進、地産地消運動への参画等により、消費と販路の拡大に努めます。				現状と課題中、「共有」よりも「周知」の方が良いと思う。	神林	
担当課	農林水産課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 越後むらかみFOODプライド食のモデル地域構築計画協議会へ参画し、地産地消の推進を図った。						
現状と課題	村上には多くの地域資源に恵まれているが、「鮭」以外の海産物についての魅力が、県内や全国に共有されていない現状にある。今後は、村上地域の水産物、観光資源を広く伝え、地域内の交流人口の増加や市内の水産物の消費拡大を図る必要がある。						
政策	4	商工業の振興	施策	3	企業誘致の推進	地区	委員氏名
推進手法	現在の企業誘致優遇策の見直しや首都圏域等での企業に関する情報収集に努めるとともに、セールス活動の強化を図ります。また、豊かな自然に恵まれた住環境と、整備された高速交通網を前面にPRを行い、既存工業団地への企業の誘致促進を図ります。				(現状と課題) 空き家に、例えばIT企業の開発部などの誘致活動を推進すべきである。	神林	
担当課	商工観光課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 平成22年及び平成26年に改正を行い、対象業種、条例適用基準、優遇措置の内容を見直し、より小さい投資から対象となる形とした。						
現状と課題	既存の工業団地のみならず、空き工場や空き地情報も含め、首都圏を中心に継続して誘致活動を推進する。なお現在、航空機関連産業が業績を伸ばしているため、いくつか立地に結びついているが、製造業で人員不足の傾向が現れてきているため、その対応が急務となる。						

基本目標 4 安全で快適な住みよいまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	道路の整備	施 策	3	安全・快適な生活道路の整備促進		
推進手法		舗装の新設や側溝整備等を図るなど、地域の実情に即した機能的な道路整備を進め、生活環境の向上を図ります。				神林	
担当課	都市整備課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	地元より多くの要望があるため、必要性・緊急性等を勘案し、優先順位・実施年度を決めていく必要がある						
	市の予算の関係とは聞いているが、道路舗装、整備などの要望は全然通らない。						
政 策	2	河川・排水路の整備推進	施 策	3	自然と調和した河川環境整備の推進	地区	委員氏名
推進手法		広大な区域にわたり多数存在する本市の河川においては、それぞれの自然環境・景観はもちろんのこと、自然生態系の保全にも配慮しつつ、地域の持つ個性的な自然景観の形成、快適性に富んだ水と緑の豊かな河川整備の推進を図ります。				神林	
担当課	都市整備課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	荒川総合再生水系環境整備事業において整備された「たんぼ」の有効利活用について、流域の学校を含めた市民とともに河川愛護意識の情勢、地域との連携を進める。						
	(実施事業等) 魚の住みやすい河川改修事業も進めてもらうべきである。						
	ふるさとの水と緑を持つ水辺のレクリエーション広場「水辺の楽校」の維持管理を実施したほか、関係機関に働きかけ荒川における「たんぼ」(湧水ワンド)の保全・再生や樹木伐採と河道掘削による礫川原の再生事業を進めてもらっている。						

基本目標 4 安全で快適な住みよいまちづくり						地区	委員氏名
政 策	4	安全なまちづくりの推進	施 策	2	防犯対策の推進		
推進手法		防犯ボランティア等、市民主導の防犯活動の支援充実、地域の連携強化および防犯施設等の整備充実を推進します。			(現状と課題) 地域から防犯灯などの設置要望があった場合は、速やかに設置すべきである。	神林	
担当課		市民課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
現状と課題		地域からの要望により、必要な箇所へ防犯灯を設置するとともに、安全・安心まちづくり連携会議の開催により、各団体間の情報共有及び防犯意識の向上を図った。					
現状と課題		犯罪の悪質・凶悪化が増加しており、より一層の安全確保が必要となっているため、市民主導の地域一体となった防犯体制の確立が必要である。また、犯罪防止につながる防犯施設についても、引き続き整備充実を進めていかなければならない。					
政 策	4	安全なまちづくりの推進	施 策	3	総合的な防災対策の推進	地区	委員氏名
推進手法		「村上市地域防災計画」や「村上市国民保護計画」に基づく総合的な災害対応能力の向上を図ります。			ハザードマップ作成の取り組みが必要と考えます。	神林	
担当課		総務課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
現状と課題		防災訓練を地域の実情に応じて行う自主防災活動へ移行することや市職員の災害時における行動訓練が不足していた。					
現状と課題		防災に対する十分な知識を持った職員の確保(研修の充実)、避難所運営を含めた職員の訓練、ITを活用した現場の情報収集が必要である。また、夜間や休日の連絡と出動体制を充実させる必要がある。					

基本目標4 安全で快適な住みよいまちづくり					地区	委員氏名
政 策	4	安全なまちづくりの推進	施 策	4		
推進手法		非常備消防については、長期計画に基づき、消防団員の確保と、資機材の整備・充実を図ります。			(現状と課題) 消防団員の確保は、地域や消防団だけでは限界にきており、行政からの入団の働きかけが必要と考える。	神林
担当課		消防本部				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
		資機材については計画的に更新を実施した。 消防団員の確保については、消防団協力事業所表示制度の活用により、消防団活動へのなお一層の理解と協力を図り、若者の入団促進を図ってきた。				
現状と課題		消防団等充実強化法の制定に伴い、必要な消防資機材の整備・充実を図っていく。 また、消防団員の確保については、定数の見直しを含めた検討が必要となる。				
基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり					地区	委員氏名
政 策	1	学校教育の充実	施 策	2		
推進手法		ネット上のトラブル、犯罪に巻き込まれないよう情報教育の充実を図るとともに、複雑化、広域化する生徒指導上の諸問題や問題を抱える児童生徒に適切に対応、支援していくことができるように、専門的知識を有する指導員の積極的な活用を図り、教育支援センターの機能充実を図ります。			現状と課題について、主任児童委員の協力が必要と考える。	神林
担当課		学校教育課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
		ネットいじめ、不登校問題に関わる生徒指導研修、県教委と連携してのネットパトロールにより未然防止に努めるとともに、指導員による学校現場での諸問題に対する支援を実施した。				
現状と課題		外部から確認ができないネットトラブルが増加しており、ネットトラブルに関する教育の充実を図る必要がある。また不登校児童生徒発生率が県平均を超える状況が続いているため、引き続き学校体制の整備を進めていく必要がある。				

基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり						地区	委員氏名
政 策	4	スポーツの振興	施 策	1	ライフステージに応じた生涯スポーツの推進		
推進手法	地域におけるスポーツのリーダー養成など、指導支援体制を整備し、スポーツ実施率の向上を図ります。		スポーツ推進委員については、体育指導委員時代から大きな課題であったと思う。スポーツ基本法が改正となり、名前もスポーツ推進委員に変わる時がアクションを起こす機会であったと思う。その後、何も取り組まれることなく、現在に至っていると思う。内部評価にスポーツ推進委員の拡充とか、委員数が定員に達していないという表記があるが、その前に、スポーツ推進委員に何を求めているのかを明確にしないといつまでもこの状態ではないか。単発の研修会等を開催しても次につながるものでなく、必死で取り組んできた感が見えない。			神林	
担当課	生涯学習課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	地域のスポーツを推進するスポーツ推進委員の拡充、資質向上を図るため、委員の委嘱、各種研修への派遣及び開催を行った。		
現状と課題	委員数が定員に達しておらず、地域でのスポーツ実施率向上のためスポーツ推進委員の職務と役割を明確にしていく中で、今後の体制についての検討も必要である。						
政 策	4	スポーツの振興	施 策	3	良好なスポーツ環境の整備・充実	地区	委員氏名
推進手法	生涯スポーツ・競技スポーツ両面の振興を図るためには、市民の多様なスポーツ・レクリエーションに対応できる組織体制が求められます。このため、体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど、スポーツ推進団体の自主性を助長しながら、官民協働による効果的なスポーツ振興を行うことができる推進体制を整えます。		スポーツ元気プランでは、スポーツの振興やまちづくりを理念、目的として活動する各スポーツ団体のネットワークづくりが来年度にはカタチとして設置することになっているが、何も進んでいるようには思えない。関係団体との協議が整わず、体制づくりまでには至らなかったという内部評価であるが、大きな将来構想を出し、話し合いをしていかないと進まない問題であると感じます。			神林	
担当課	生涯学習課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	体育協会などのスポーツ関係団体、学校、地域団体、企業等への呼びかけを実施したが、関係団体との協議が整わず体制づくりまでには至らなかった。		
現状と課題	体育協会、スポーツ少年団では会員や団員が減少傾向にあり、総合型地域スポーツクラブも含め財政基盤の確立や組織整備が課題であるため、指導者間のネットワークづくりを優先に体制づくりに努める必要がある。						

基本目標 5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり					地区	委員氏名
政 策	4	スポーツの振興	施 策	3		
推進手法		スポーツ実施へのきっかけづくりや動機づけとなる広報活動の充実を図ります。			「市報むらかみ」でスポーツ情報を掲載していただいていたが、限られた紙面での発信となり、十分な広報はできていない。市報の掲載内容の再考も必要ではないか。スポーツ団体のネットワークシステムを早く構築し、スポーツ情報誌を定期的に発行できるようになれば、「住民に優しいスポーツ情報提供」ができると思う。	神林
担当課		生涯学習課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		「市報むらかみ」や市、スポーツ推進委員協議会、体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等の広報誌などでスポーツ情報の提供を行ったが、スポーツカレンダーの発行、情報提供・施設利用システム整備等ができなかった。				
		一元的なスポーツ情報の発信が行われていない現状にあり、情報提供・施設利用システムを構築する必要がある。				
基本目標 6 簡素で効率の良い行政経営					地区	委員氏名
政 策	2	財政改革	施 策	2		
推進手法		県と市町村が共同で滞納整理を行う新潟県地方税徴収機構を活用するなど、税の公平化を図る上で積極的な滞納処分を行うとともに、収納推進員による効率的、効果的な収納活動を推進します。			市税の徴収が強引すぎる。もっと足を運ぶなどして督促した方がよい。	神林
担当課		税務課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		新潟県地方税徴収機構に職員を派遣するとともに、収納推進員を配置し、文書催告、臨戸訪問を実施し徴収率の向上を図った。				
		納税者の利便性の向上や納税しやすい環境づくりに向け、コンビニ収納を導入する必要がある。				

基本目標6 簡素で効率の良い行政経営						地区	委員氏名
政 策	2	財政改革	施 策	3	歳出改革		
推進手法		市民との協働の観点から、地域において市民が公共的な内容の活動を行っている場合、その活動を評価し自主性、自立性を損なわない範囲で助成することによってさらにその内容を充実させ、活動の範囲を広げることの支援を目的とした「地域づくりや産業等の活性化を支援する提案（公募）型補助制度」、「地域コミュニティ活動助成金制度」を創設します。				神林	
担当課	自治振興課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	地域の特性を生かしながら、同様の支援制度を創設した協議会はあるが、全市で統一した制度は創設しなかった。						
現状と課題	各協議会の個別の動向を見ながら、統一した制度の創設が必要か検討する必要がある。						
政 策	4	施設改革	施 策	1	施設利用活性化改革	地区	委員氏名
推進手法		支所の空きスペースを地域の公共的団体等に開放し、積極的に地域の活性化や少子高齢化対策のために有効的な活用を図ります。また、学校の空きスペースも学童保育所などに有効活用を図ります。				神林	
担当課	総務課・福祉課・学校教育課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	支所庁舎については、一部、まちづくり協議会や各種団体の有効利用を図っている。学童保育所について支所庁舎内や学校の空き教室への設置を検討したが、遊び場の問題や空き教室自体が無いとの結論で実現できなかった。						
現状と課題	現在の支所庁舎では、休日及び夜間使用の管理面で不都合があり、大幅な施設改修が必要なることが予想されることから、書庫等の保管スペースとしての検討が必要。学校については統合や学級再編に合わせ個別に対応することが必要である。						

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

アクションプラン

【神林地区】

産業元気プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(2) 雇用の確保・拡大		
施策の方向性	地元から雇用を生み出す地域資源を発掘・活用できる起業を支援していく必要があります。	神林	
担当課	商工観光課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 企業設置奨励条例を改正し、小規模からの新設・起業に対する支援を制度化したほか、貸し物件を活用して事業を行う際の家賃補助制度を導入した。		
現状と課題	家賃補助制度については、まだ適用実績がない。今後はPRや対象業種の見直しなどが必要となる。		
施策の方向性	農商工連携や農林漁業の6次産業化に関する企業立地への優遇支援策を検討する必要があります。	神林	
担当課	商工観光課・政策推進課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 企業設置奨励条例を改正し、優遇措置の拡充を行ったが、農林水産業の追加については、今後の検討課題とした。		
現状と課題	企業設置奨励条例では、対象業種が製造業を中心とした範囲であり、農商工連携や、6次産業化については、工程の一部で製造業として運用できる要素もある。生産、販売も併せた範囲を含んでいくためには、ガイドラインなどの検討が必要である。		

産業元気プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(3) 高速交通体系の整備促進		
施策の方向性	国土ミッシングリンクの解消に向け、日本海東北自動車道朝日まほろばI.C.からあつみ温泉I.C.間の早期開通に向け、地域をあげての要望を強化する必要があります。	神林	施策の方向性に、以下を追記してはどうか。 「道の駅」神林は、地理的に新潟市内（新潟空港）から約1時間で、村上地域の中心的位置にあります。村上地域の総合案内施設として活用すべきです。
担当課	都市整備課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 早期開通に向けて、期成同盟会による促進大会・要望活動や地元団体シンポジウムを展開した。		
現状と課題	民間団体で構成された活性化協議会等との協力体制を整え、官民一体となった要望活動の推進が必要である。		
施策の方向性	高速道路の整備に合わせ、地場製品の流通と雇用の拡大につながる販売施設の設置を強力に要望していく必要があります。	神林	高速道路開通に伴い、一般道路沿いの店などが衰退しないような対策。
担当課	都市整備課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 日沿道の整備と併せていく必要があり、現段階で具体的な要望活動に至らなかった。		
現状と課題	商工振興の観点から地元との連携を図りながら、既存施設や隣接施設と競合しないよう関係機関に要望する必要がある。		

交流・体験プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(1) 魅力ある地域づくり		
施策の方向性	日本海きらきら羽越観光圏での取組を強化し、周遊型観光(2泊3日滞在型)の確立を目指すとともに、恵まれた地域資源を活かした市内観光ネットワークの充実が必要です。	神林	
担当課	商工観光課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 全国紙、地方紙を含め雑誌媒体などへのプロモーション活動を行いモニターツアーに記者を誘致するなどして、周遊型観光の促進を図るとともに、県外の物産展などへ参加し、本市の魅力を伝えた。市内の観光ネットワークづくりについては具体的な取組に至らなかった。		
現状と課題	引き続き日本海きらきら羽越観光圏での取組を強化するとともに、統合した観光協会を中心に市内観光のネットワーク化に取り組む必要がある。		
施策区分	(2) 定住・交流人口の拡大	地区	委員氏名
施策の方向性	空き家の活用と遊休農地及び耕作放棄地の有効活用と連携した施策を展開し、定住人口や都市との交流人口の拡大を図る必要があります。	神林	
担当課	政策推進課・農林水産課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 空き家バンク事業により定住人口の拡大を図ったほか、ふるさと回帰フェアへの参加等で積極的な情報発信を展開した。		
現状と課題	空き家バンク事業に対する市民の認識は徐々に広がってきており、今後は利用できる空き家の確保と定住者への補助制度の構築が必要となる。また、関東圏への更なる情報提供を進める必要がある。		

交流・体験プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(2) 定住・交流人口の拡大		
施策の方向性	保育料や住宅建築に対する支援等、移住定住者支援制度の研究を進め、定住人口の拡大を図っていく必要があります。	神林	
担当課	政策推進課・福祉課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 人口減少問題対策委員会を立ち上げ、定住人口の拡大に向け、村上市人口減少問題「チャレンジプラン」を策定。取り組める事業から取り組んだ。		
現状と課題	プランを着実に実行していくとともに、第2次総合計画の策定作業の中で拡充の検討を行う必要がある。		
施策の方向性	極端な少子化への対策を具体的かつ速やかに実施する必要があります。	神林	
担当課	政策推進課・関係各課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 村上市人口減少問題「チャレンジプラン」において、婚活支援補助金やむらかみ若者チャレンジ応援プロジェクト事業に取り組んだ。		
現状と課題	プランを着実に実行していくとともに、第2次総合計画の策定作業の中で拡充の検討を行う必要がある。		

(現状と課題)
人口問題は、最重要課題の一つであり、市民が最も関心の高い問題であると思う。人口減少問題対策委員会が設置されたに於いては、記載内容に具体性もなく、対応が乏しく感じられる。

婚活支援で、一回でなく、もう一押ししてもらいたい。

健やか・子育て支援プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(2) 地域医療体制の整備		神林	
施策の方向性	厚生連村上総合病院の施設整備への支援を進めるとともに、地域医療のあり方を医療関係機関と共に検討する必要があります。	市が活発に動いていないのが問題である。	神林	
担当課	政策推進課・保健医療課・関係各課			
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 厚生連村上総合病院の移転新築候補地は村上駅西側に決定したが、建設年度の決定には至っていない。急患診療所については医師会等の協力をいただき休日に加えて、平日夜間の診療を開始した。			
現状と課題	厚生連村上総合病院の建設年度の決定に伴う、村上駅周辺の整備を計画的に進める必要がある。また急患診療所は手狭な状況にあるため、移転について具体的な検討に着手する必要がある。			
施策区分	(3) 子育て環境の整備		地区	委員氏名
施策の方向性	保育ニーズに対応するため、現行の延長保育、土曜保育、一時預かり事業の充実と休日保育の導入について施設のあり方を含め検討する必要があります。	(内部評価) 「あらかわ保育園」のみ延長保育と休日保育実施とあるが、市全体にサービスの提供を拡大していかないと不平等なので、取り組みの強化が必要である。	神林	
担当課	福祉課			
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 指定管理者の導入した「あらかわ保育園」では、延長保育の時間(朝7時30分～夕6時30分)の朝夕30分ずつの延長と、休日保育(日曜日、国民の祝日)を取り入れた。市内各区の拠点保育園で土曜日の一日保育を導入した。			
現状と課題	一時預かり事業については利用者が増加傾向にあるため、保育施設の未満児の受け入れ体制及び、緊急に預からなければならない家庭に対して対応も含め検討していく必要がある。			

健やか・子育て支援プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(3) 子育て環境の整備		
施策の方向性	児童の健全育成を図るため、学童保育所を計画的に整備し、放課後児童対策の充実を図る必要があります。	神林	
担当課	福祉課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 瀬波学童保育所を建設したほか、保内学童保育所の建設に着手した。		
現状と課題	今後は老朽化した施設や管理面で問題がある施設から、保育園等施設整備計画に則り計画的に整備を進めていく必要がある。		
人づくりプロジェクト			
施策区分	(4) 文化・芸術の推進	地区	委員氏名
施策の方向性	多彩な地域文化を育成・継承するため活動団体への支援を強化していく必要があります。	神林	
担当課	生涯学習課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 文化庁補助事業である文化遺産を活かした地域活性化事業および伝統文化子供教室事業について、周知や募集、申請等補助金交付手続きを行い事業採択を受け、伝統芸能や伝統行事の活動団体を支援することが出来た。		
現状と課題	伝統芸能や伝統行事保持団体の活動に必要な用具や設備の修理等に対して、補助金等による資金面での支援が必要である。		

人づくりプロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(4) 文化・芸術の推進			
施策の方向性	村上城跡や平林城跡をはじめとした文化財の整備を推進し、地域活性化や観光施策と連携した事業の展開を検討していく必要があります。	整備するのは良いが、今後の維持管理が大変。	神林	
担当課	生涯学習課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 整備の面では、村上城跡、平林城跡ともに整備委員会、文化庁の指導を得て推進し一定の成果が得られた。また、両城跡では現地説明会を開催し、遺跡に対する理解が深められた。			
現状と課題	整備の進捗状況に合わせ、観光及び地域活性化施策との連携について、引き続き検討する必要がある。			
暮らし応援プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(1) 自然環境の保全			
施策の方向性	地球環境保全のため、温室効果ガス抑制の施策を推進するとともに、地球にやさしい、地域資源を有効活用した新エネルギー導入施策を実施する必要があります。	住宅の新築は、春が主なので、バイオマスストーブ等の申請が6月では、間に合わない人がいると思う。	神林	
担当課	環境課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 住宅用太陽光発電システム、木質バイオマスストーブの設置に関する補助を実施したほか、電気自動車用充電設備を「道の駅」等に設置した。			
現状と課題	住宅用太陽光発電および木質バイオマスストーブ補助については、今後も需要が見込まれる。また、洋上風力発電については、今後の進捗状況により振興策等の検討が必要となる。			

暮らし応援プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(2) 公共交通体系の整備		
施策の方向性	<p>実証運行を検証し、通院・買物支援・通学等の生活交通確保を主体に、デマンド型（予約型乗合）交通等、地域の実情にあった利用しやすい交通体系の確立を目指す必要があります。</p>	神林	
担当課	自治振興課		
内部評価及び 主な 実施事業等	<p>十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施</p> <p>まちなか循環バス、せなみ巡回バス、荒川、神林、朝日、村上の一部地域にデマンドタクシーを展開してきた。</p>		
現状と課題	<p>デマンド型タクシーの委託料の算定基準が地区ごとに異なっているため、調整が必要。また、事業者の高齢化、設備の老朽化が懸念される。</p>		

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

計画未計上分

【神林地区】

施策の内容	現状・理由等	地区	委員氏名
観光とスポーツの融合	<p>トップアスリート（五輪メダリスト）効果は、観光に大いに貢献することを体験した。村上市に、スポーツ観光課、もしくは教育観光課を設置すべきだと思う。神林支所は、村上地域の役所施設の中でも地理的立地から見るとインフラが整っている。その施設を活用し、スポーツ観光課（体験観光総合案内、トップアスリートとの交流）を設置してはと考える。</p>	神林	
村上市応援隊（神林地区）	<p>村上市（神林地区）出身で、他地域で生活、活躍している人が大勢いるが、出身地に貢献したいと思いのある方もいるはずである。そのような方々との交流を活発化して、例えば1万円以上特別納税の方には市報を送付する、道の駅やJAなど村上市（神林地区）の特産品を紹介して、定期購入者へと進んでいけたらよいと思う。</p>	神林	
中間総括全体の意見	別紙のとおり	神林	

第1次村上市総合計画中間総括素案について

忙しい中での評価まとめご苦労様でした。
アンケートの回答が遅れて失礼しました。
気づいたことのみを記しました。

- 1 項目内の記述内容については申し上げることはありません。こういう形式の評価とすれば、こういう表現にならざるを得ないと思います。
- 2 評価段階の設定についても無難だと思います。ただしどの段階に評価するかという判断の基準が曖昧になり易い危険があります。部署の受け止め方で違ってくる場合があります。(「一定の成果あり」・ ・ ・どの程度をもって判断するのか)
備考として判断の基準を明示することが必要と思います。

*予算の執行状況と実際の内容の問題

市民の参加や意識の向上等が主たる内容の事業は、事業としては実施しても参加者が少なかったりした場合にどう判断するかが問題になります。

*未実施の事業についての扱い

今後実施する予定があるのか否か

その事業は取りやめるのか・ ・ ・ そうだとすれば計画立案時の問題になります。

配当予算はどうなるのか。説明が必要と思います。

*評価未記入の箇所の扱い

未記入の理由 今後実施記入の予定は(聞き落したかもしれません) どうなるか明記する必要があるのでは。

- 3 評価項目の記入状況を数えてみました。(見落とし等間違いあると思いますが)

基本計画分		定住の里づくりアクション	
十分成果あり	20	十分成果あり	0
一定の成果あり	166	一定の成果あり	30
不十分	43	不十分	3
未実施	12	未実施	3

不十分であっても95%の実施率ですからまずまずというところで#しょうか。